3	社會ノ心理學的解釋(上)	綿貫哲雄
4	代議制度ノ發達ト比例代表竝職能代表	森口繁治
5	解雇權ノ濫用ト從業規則	森田良雄
6	社會行政ノ新領域	鈴木義男
7	小作爭議解決ノ種々ナル提案ト其ノ歸趨	田邊忠男
8	勞働者募集取締令概論(下ノ上)	木村清司
9	米國ニ於ケル勞働組合ノ銀行經營運動	長岡保太郎
10	1925年ニ於ケル英國炭坑爭議ノ意義	水上威治郎
11	英國ニ於ケル國有化運動ノ一期	松澤鉉人

12	労働ノ立脚地ヨリ見タル農業政策ノ一提案	久保田明光
13	本邦製糖労働事情調査(2)	鹿池　千英
13	海外労働日誌	協調会
15	第7回國際労働総會ト日本	國際労働局
16	社會運動トシテノXXX	澤田　謙
17	ロバート・オーウエンノ社會哲學	北野大吉
18	資本主義ノ自然觀	中込本治郎
19	各國労働組合運動史（ネストリープケ）	

第61號（10月號）　内容資料

1	社會政策ノ人生觀	永井　亨
2	資本主義發生行程ニ於ケル農民(一)	高橋誠一郎
3	社會ノ心理學的解釋(下)	綱貫　哲雄
4	ランゲノ唯物論史ト倫理	山口正太郎
5	ギディングスノ社會哲學ニ對スル二三ノ疑問(上)	岩崎　卯一
6	社會運動トシテノK.K.K.(下)	澤田　謙
7	1925年英國炭坑爭議ノ意義(中)	水上鐘治郎
8	我國ノ労働組合ト労働組合法	赤松
9	労働者募集取締令概論（上ノ下）	木村　清司
10	英國鐵道ノナショナルプログラムニ就テ	大江　武男
11	本邦製糖業労働事情(3)	廣池　千英
12	海外労働事情	
13	國内労働誌	協調會

第62號（11月號）　內容資料　103

1．失業對策ト國庫剩餘金　土方成美
2．社會政策ノ社會觀(上)　永井亨
3．社會關係論ニ就テ　新明正道
4．交易關係論　淀多野鼎
5．ラスキンヲ憶フテ　本位田祥男
6．ギデイングスノ社會哲學ニ對スル二三ノ疑問(下)　岩崎卯一
7．家族的生活者ト非家族的生活者　戸田貞三
8．1925年英國炭坑爭議ノ意義(下)　水上鐵治郎
9．本邦醬油工業労働事情　吉田[illegible]
10．本邦製糖業務労働事情（4完）　廣池千英
11．労働者有給休日制ノ研究　前田一
12．海外労働事情
13．國內労働誌　協調會

1.	事業家ノ責任ト工場懇和會	河津　暹
2	社會政策ノ社會觀(下)	永井　亨
3.	ユートピアニ於ケル統計調査	猪間驥一
4	國家主義倫理ト普通主義倫理	中込本治郎
5.	我國ニ於ケル勞働者教育ニ就テ	松下芳男
6	英國「勞働者教育協會」ニ就テ	小島幸治
7.	英國フエビアン協會ノ概況	川原次吉郎
8.	新入職工ニ對スル安全教育	吉田一枝
9.	本邦醬油工業勞働事情(下)	吉田寧
10.	海外勞働事情	
11.	國内勞働日誌	協調會
12.	各國勞働運動史（ネストリーブケテ）	

大正15年度

第64號（1月號）內容資料

1．社會政策ノ歷史觀　永井　亨
2．政治組織ノ成立過程ト我カ憲法(1)　高橋　清吾
3．労働者階級ト賃銀統制　出井　盛二
4．所謂基本權ノ法律的實現　鈴木　義男
5．豫言者ノ書ニ現ハレタルユートピアノ思想　澤田　豊
6．マンデヴイルノ倫理　ロージヤース
7．我邦ニ於ケルクロースドシヨツプノ一例　森田　良雄
8．本邦製鐵業労働事情概況(1)　橋本能保利
9．海外労働事情　協調會
10．國內労働日誌　協調會

第65號（2月號）內容資料　106

1．アダム・スミスト自由貿易　竹内　誠二
2．下層階級保護ト庶民金融政策　松崎　壽
3．社會政策ノ歷史觀(下)　永井　亨
4．政治組織ノ成立過程ト我カ憲法(下)　高橋　清吾
5．第4回全國家賃調査報告　柳原　平八
6．鍊漁業労働ノ季節的移動　遊佐　敏彦
7．本邦製鹽業労働事情概說(2)　橋本能保利
8．海外労働事情　協調會
9．國內労働日誌　協調會

第 66 號（3月號）內容資料

1．社會選良ノ周流(上)　松本潤一郎
2．社會政策ノ人生觀ト其ノ觀念的基礎(上)　永井　亨
3．20 世紀初頭ノ英國労働組合立法　上田貞次郎
4．公共企業ニ對スル監督　吉野　信次
5．生誕百年ニ當レル父リーブクネヒト　アイスネル
6．オーウエンノ失業問題對策　北野　大吉
7．本邦製鐵業労働事情概說(3)　橋本能保利
8．海外労働事情　協調會
9．國內労働日誌　協調會
10．歐米諸國ニ於ケル爭議ニ關スル諸統計(上)

1．經濟學ノ倫理性　高橋誠一郎
2．經濟學ニ於ケル地代論ノ繼承ト小作料　田邊忠男
3．社會ノ文化体系ニ於ケル地位　新明正道
4．社會政策ノ人生觀ト其ノ觀念的基礎(中)　永井亨
5．社會選良ノ周流(下)　松本潤一郎
6．產業主義者サン・シモン　增井幸雄
7．アドラー「マルクス主義ト類逸古典哲學トノ關係」　波多野鼎
8．工場法第13條　木村清司
9．ルーマニアノ土地政策(上)　澤村康
10．女工ノ感冒及胃腸病ニ關スル考察　古賀安彦

11．綿糸紡績工場ニ於ケル職工共濟組合(I)　片山　潜
12．漁業労働ノ季節的移動(下)
13．海外労働事情
14．國内労働日誌
15．歐洲ニ於ケル消費組合ノ勢力　本位田祥男
16．我國於ケル産業別組合合同運動(上)　松岡　俊人
17．歐米諸國ニ於ケル労働爭議統計

第88號（5月號）內容資料　110

1．社會政策ト連帶責任　戸田　貞三
2．有產階級ト無產階級　林　發未夫
3．社會ノ文化体系ニ於ケル地位(下)　新明　正道
4．社會政策ノ人生觀ト其ノ觀念的基礎(下)　永井　亨
5．ルーマニアノ土地政策(下)　澤村　康
6．第51議會ニ提出サレタル労働問題關係諸法案
7．我國最近ノ產業別組合合同運動(下)　片山　早苗
8．海外労働事情　[illegible]會
9．國內労働日誌　[illegible]會

第69號（6月號）內容資料　111

1．社會的基本關係ニ就テ　高田保馬
2．國際労働運動ノ一轉機トシテノ英國炭坑爭議　水上鐵治郎
3．英國炭坑爭議批判　永井亨
4．ドイツニ於ケル資本主義ノ發達(上)　石濱知行
5．搾取ト資本主義　丸谷喜市
6．我國ノ過剩人口　野田信夫
7．本邦製鐵業労働事情概說(4)　稼本能保利
8．綿糸紡績工場ニ於ケル職工共濟組合(3)　片山早苗
9．海外労働事情　協調會
10．國內労働日誌　協調會
11．歐米諸國ニ於ケル労働爭議統計(下)　協調會

第10號（7月號）內容資料　112

1	社會思想ノ研究及取締	永井　亨
2	婦人參政權ノ理論	森口　繁治
3	國際労働運動上ノ一轉機タルマキイギリス炭坑爭議	
4	〔下〕	水上鎌治郎
5	ドイツニ於ケル資本主義ノ發展(1)	石橋　知行
6	チエツコ　スロヴアキアニ於ケル土地政策(上)	國際労働局
7	本邦製鑛業労働事情概要(5)	橋本能保利
8	絹糸紡績工場ニ於ケル職工共濟組合（4完）	片山　[illegible]
9	海外労働事情	協調會
9	國內労働日誌	協調會
10	各國労働賃金統計(上)	協調會

第71號　8月號　內容資料　　113

1	耕地立入禁止問題	小野　武夫
2	ドイツニ於ケル資本主義ノ發達(下)	石濱　知行
3	労働爭議調停法ニ就テ(上)	北原　安衛
4	健康保險法施行命令義解(上)	清水　玄
5	チエツコ・スロバキアニ於ケル土地政策(下)	労働國際局
6	我國ニ於ケル労働委員會ノ現狀(上)	藤池　千英
7	本邦製鐵業労働事情概說(6)	橋本能保利
8	海外労働事情	協調會
9	國內労働日誌	協調會
10	社會的見解ノ成立及持續ト其ノ能力	田村　德治

第72號（9月號）內容資料　114

1．英國ニ於ケル產業平和維持策ノ現勢(1)　吉田
2．濠洲ノ現行社會立法　生江　考之
3．労働爭議調停法ニ就テ(1)　北原　安衞
4．健康保健法施行命令差解(1)　清水　玄
5．7月1日ヨリ實施サレタル労働諸法制(1)
6．我國ニ於ケル労働委員會ノ現狀(1)　廣池　千英
7．各國労働賃金統計(2)　協調會
8．海外労働事情　協調會
9．國內労働日誌　協調會
10．ラスキノ"Grammar of Politics"　中島　[illegible]

第73號（10月號）內容資料　115

1．英國ニ於ケル産業平和維持策ノ現勢(中)　吉田
2．獨逸ニ於ケル應急労働組織　白崎　一
3．ユートピア思想家トシテノイエストプラトー　澤田　豊
4．労働爭議調停法ニ就テ(下)　北原　安藤
5．健康保健法施行命令義解(下)　清水　玄
6．第8回國際労働會議　國際労働局
8．就業場内ヨリ見タル織物業労働事情(上)　桂　皐
7．紡績工場ニ於ケル業務災害ニ關スル考案　千明　勝治
9．海外労働事情　協　調　會
10．國内労働日誌　協　調　會
11．7月1日ヨリ實施セラレタル労働諸法制(下)

第74號（11月號）內容　　118

1．失業對策トレテノ金融政策　長岡保太郎
2．小作法ニ對スル根本的要望　太田利一
3．英國ニ於ケル產業平和維持策ノ現勢(下)　吉田
4．建設業後ノイギリス共同組織　水上鍛治郎
5．アイルランドノ土地政策(上)　濱村康
6．第9回國際労働會議　國際労働局
7．自由労働者ノ救濟ト神戸労働保護組合　石野為之介
8．知識階級ノ失業問題ニ就テ　遊佐敏彦
9．作業習得ノ曲線ニ就テ　吉田一枝
10．就業案內ヨリ見タル織物業労働事情(下)　桂皐
11．海外労働事情　協調會
12．國內労働日誌　協調會

第75號（12月號）內容資料　117

1．獨逸ノ雇主組合　山本　浩
2．行キ惱ノル日本ノ人口問題　南　亮三郎
3．昨年度ノ我國人口ノ異常增加ニ就テ　猪間　彌一
4．アイルランドノ土地政策(2)　澤村　康
5．1925年ニ於ケル英國蠟働爭議　山上　辨藏
6．本邦造船業労働事情(1)　吉田　寧
7．海外労働事情　協調會
8．國內労働日誌　協調會

昭和2年度

第76號（1月號）內容資料　118

1．財界統制策トシテノ割引對策　松崎　壽
2．運輸労働者國際運動ノ發達　水上鐵治郎
3．労働債個說ノ史的發展(1)　谷口彌五郎
4．近世産業ノ經營ト管理　駒田　孝一
5．英國労働黨ノ實際政策　北岡　壽逸
6．アイルランドノ土地政策(3)　澤村　康
7．現實ノ支那ト其ノ對外關係　宮脇賢之介
8．各國労働者組合及政黨統計　協調會
9．本邦造船業労働事情概說(2)　吉田　寧
10．海外労働事情
11．國內労働日誌　協調會

第77號（2月號）內容資料　119

1．大正15年度農林問題概況　協調會
2．大正15年度日本労働運動概觀(1)　内藤　義弘
3．ソヴエト露西亞ニ於ケル手工業ト個人資本ノ關係　大竹　博吉
4．本邦造船業労働事情概說(3)　吉田　寧
5．海外労働事情　協調會
6．國内労働日誌　協調會
7．德川時代ニ於ケル農民退轉竝子間引ノ習俗ト村人數ノ減退ニ就テ　小野　武夫
8．無產階級ノ娛樂ト獨逸國民劇場運動　白崎　享一
9．労働契約ノ概念　吉野　惺
10．アイルランドノ土地政策（4・完）　澤村　康
11．労働價値說ノ史的發展　谷口彌五郎

第78號（3月號）內容資料 120

1．社會的立法ノ思想的背景(上) 鈴木 義男
2．英國炭坑爭議ノ終結 水上鐵治郎
3．健康保險實施ノ總勘定 清水 玄
4．災害統計ノ規格統一 前田 一
5．海外労働事情 協調會
6．國內労働日誌 協調會
7．マクドナルドノ社會主義 北岡 壽逸
8．大正15年度日本労働運動概觀(下) 內藤 義弘
9．ドイツ及ロシヤノ労働爭議 協調會

第79號（4月號）內容資料　121

1．ファシストサンチカリズム並其ノ労働團体法　森口繁治
2．社會的立法ノ思想的背景(中)　鈴木義男
3．科學的管理法ニ於ケル労資協力　野田信夫
4．本邦製鐵業労働事情概說(7)　橋本能保利
5．最近ロシアノ失業狀態
6．海外労働事情　協調會
7．國內労働日誌　協調會
8．農業委員會制度ノ特質　太田利一
9．小作ニ關スル民事訴訟事件ノ概觀　松村勝治郎
10．國際労働機關ヨリ見タル最近歐洲労働問題　前田多門
11．時局ノ焦點タル支那ノ關稅政策　宮脇賢之介

1.	獨逸労働裁判所法	後藤 清
2.	工場附属寄宿舎規則義解(上)	北岡 寿逸
3.	就業規則ノ法律的性質ニ關スル契約説法規説	前田 一
4.	健康保險ニ關スル若干ノ問題	氏家貞一郎
5.	セツトルメントノ教育的機能	松澤 兼人
6.	本邦製鐵業労働事情概説(8)	橋本能保利
7.	本邦造船業労働事情概説(4)(完)	吉田 寅
8.	海外労働事情	協調会
9.	國内労働日誌	協調会
10.	世界アチラコチラ	牧野 良一
11.	現時ノ思想問題ニ關スル社会哲學的考察	鈴木 宗忠

1．法定最低賃銀制度ニ於ケル「最低」決定ノ規準原則(1) 吉田
2．社會的ノ立法ノ思想的背景(1) 鎗木義男
3．北米合衆國ニ於ケル農家ノ社會的狀況ト生活費 高嗣能雄
5．如何ニシテ英國勞働組合運動ハ「勞働組合會議」ノ成立ニ到着シタカ 山中篤太郎
5．濠洲ニユーサウスウエールス洲ニ於ケル最低賃銀ト家庭扶助法 生江孝之
6．工場附屬寄宿舍規則解(下) 北岡壽逸
7．第52回帝國議會ニ提出サレタル勞働關係調整法案
8．米國企業經營ノ新精神タルフオーデイズム 川崎勇
9．本邦製鐵業勞働事情概說(9) 橋本能保利
10．海外勞働事情 協調會
11．國內勞働日誌 協調會

1．法定最低賃銀制度ニ於ケル「最低」決定ノ規準原則(2) 吉田
2．社會的立法ノ思想的背景(下) 鈴木義男
3．混淆タル支那勞働問題 宮脇賢之介
4．上海ニ於ケル昨年度ノ國際罷工 阿部一郎
5．團結及罷業ノ自由ニ關スル一考察 森田良雄
6．健康保險組合ノ財源ト醫療組織ニ就テ 熊谷喜一
7．農業立法ノ基礎トシテノ土地所有權 根岸新治
8．獨逸ニ於ケル徒弟制度 石本雅男
9．就業案內ヨリ見タル紡織業勞働事情(片) 片山早苗
10．海外勞働事情 協調會
11．國內勞働日誌 協調會

1．支那社會ノ本質ト其ノ產業組織　宮嶋資之介
2．我國ニ於ケル小作爭議ニ就テ　松村時治郎
3．法定最低賃銀制度ニ於ケル「最低」決定ノ規準原則（3-完）　吉田
4．帝都ニ於ケル乞食ノ研究(H)　吉田英輝
5．日本郵船株式會社司厨部勞働爭議事情　矢永一夫
6．各國勞働組合規約要項集(H)　協調會
7．就業案内ヨリ見タル紡織業勞働事情(H)　片山早苗
8．海外勞働事情　協調會
9．國内勞働日誌　協調會
10．社會的地位決定要素トシテノ職業資格　戸田貞三
11．社會政策ノ基調トシノ都市人口ノ國流　磯林英一

1	無産階級ト兒童保護（上）	生江孝之
2	我國ニ於ケル小作爭議ニ就テ（中）	松村勝治郎
3	獨乙ニ於ケル老齢使用人ノ保護	後藤清
4	健康保險法改正意見輯錄	協調會
5	英國ノ中等教育ト勞働階級	山田敏一
6	米國ニ於ケル消費組合經營事業ノ現狀	美濃口時次郎
7	帝都ニ於ケル乞食ノ研究（中）	吉田泰雄
8	日本郵船株式會社司厨部勞働爭議事情（下）	矢次一夫
9	各國勞働組合規約要項集（中）	協調會
10	第十回國際勞働總會ト日本	國際勞働局
11	支那勞働者生活費ノ研究	岡野一朗
12	海外勞働事情	協調會
13	國内勞働日誌	

第85號〔10月號〕　内容資料

1	支那ノ民族解放運動	笹川潔
2	支那ノ企業ト近世國家	前田幸太郎
3	我國ニ於ケル小作爭議ニ就テ〔下〕	松村勝治郎
4	オーストリアノ土地政策〔上〕	湊村康
5	無産階級ト兒童保護〔下〕	生江孝之
6	改良派インターナショナルノ危機	永上鐵治郎
7	各國勞働組合規約要項集〔下〕	協調會
8	川崎造船所職工ノ解雇及失業救濟狀況〔上〕	橋本能保利
9	國際勞働會議ニ於ケル科學的管理法	上野陽一
10	海外勞働事情	協調會
11	國内勞働日誌	協調會
12	帝都ニ於ケル乞食ノ研究〔下〕	吉田英雄
13	消費組合ノ中立性	中西仁三

1．英國勞働運動ノ產業平和論	水上源治郎
2．支那ニ於ケル思潮ノ方向	笹川潔
3．支那ノ職業紹介事業	陶野一朗
4．支那ノ労働爭議〔1〕	百瀬賢之介
5．小作爭議統計	協調會
6．オーストリアノ土地政策〔下〕	澤村康
7．本邦都市ニ於ケル少年屬僱事情〔上〕	藤村甚一
8．アメリカニ於ケル合理化運動	上野陽一
9．川崎造船所職工ノ傷病及失業救濟狀況〔下〕	橋本龍保利
10．海外労働事情	協調會
11．國内労働日誌	協調會
12．ゾムバルト教授ノ經濟制度ノ將來觀	中西仁三

第87號（12月號）　内容資料　129

1・各國ニ於ケル産業災害豫防法　水岡壽逸
2・本邦海上労働運動ノ現勢　長谷幸之
3・支那ノ労働爭議（2）　宮脇賢之介
4・農業團体ト農民ノ政治運動　協調會
5・併國社會主義者ト農業問題　八木澤善次
6・リチヤード、ジヨーンズノ小農地代論　東浦庄治
7・農業ニ於ケル總生産費ト労働費　國際聯盟支局
8・本邦都市ニ於ケル少年雇傭事情（下）　磯村英一
9・海外労働事情　協調會
10・國内労働日誌　協調會

昭和3年度

第38號（1月號）　内容　130

1．アメリカ農主組合ノ労働對策　山本　浩

2．本國ニ於ケル労資協調機關（1）　水上鐵治郎

3．1927年ニ於ケル支那動亂ノ回顧（上）　笹川　潔

4．本邦電車從事員労働事情（1）　廣池千葵

5．最近1箇年間ニ於ケル歐洲ノ失業狀況　美濃口時次郎

6．農業經濟統計

7．海外労働事情

8．國内労働日誌

9．支那ノ労働爭議（3）　宮脇賢之介

10．人口問題ト食糧及植民政策　半澤耕貫

11．德川時代ニ於ケル社交的典型ニ就テ（上）　新明正道

第89號（2月號）　内容資料

1	英國ニ於ケル労資協調機關（2）	水上啟治郎
2	1927年ニ於ケル支那動亂ノ回顧（下）	笹川　潔
3	賃金支拂ノ確保ヲ目的トスル模範法案	吉野信次
4	英國ニ於ケル新労働組合法	小川五郎
5	支那ノ労働爭議（4）	宮廻賢之介
6	生活費指數計算ノ基礎ニ就テ	長岡保太郎
7	社會政策ノ根本問題	竹島富三郎
8	德川時代ニ於ケル社交的典型ニ就テ（下）	新明正道
9	本邦電車從事員労働事情（2）	廣池千秋
10	海外労働事情	
11	國内労働事情	
12	昭和2年度ノ農村事情概觀	
13	昭和2年度本邦労働組合運動ノ概勢	内藤莞弘

第90號（3月號）　內容資料　132

1・英國ニ於ケル労資協調機關（下）　水上鐵治郎
2・支那ノ産業組合運動　岡野一朗
3・最近ニ於ケル岐阜縣下ノ小作爭議　松村勝治郎
4・支那ノ労働爭議（5）　宮脇賢之介
5・改良派インターナショナル加盟團体統計
6・労働法上ノ産業福利施設ノ觀念ニ就テ　木村清司
7・印度ニ於ケル固定階級　山口正太郎
8・簡易生命保險ニ就テ　岡崎文規
9・消費組合運動ノ根本相　篠田七郎
10・炭山労働者生計ノ特異性　前田一
11・産業労働者ノ疲労ノ研究　若林米吉
12・海外労働事情
13・國內労働日誌

第91號（4月號）　內容資料　133

1．產業合理化ト労働階級　長岡保太郎
2．獨乙ニ於ケル產業合理化ノ經濟的及社會的效果　美濃口時次郎
3．英國產原合理化運動トシテノトラスト（上）　竹中龍雄
4．本邦工業労働者ノ消費組合運動　村山重忠
5．支那ノ労働爭議（6）　宮脇賢之介
6．本邦海員労働事情（1）　長谷孝之
7．本邦市營事業ニ於ケル雇傭事情　磯村英一
8．埼玉縣ニ於ケル農業委員會制度ノ概要　小島利太郎
9．海外労働事情
10．國內労働日誌

1・佛國労働法ノ特質　山口正太郎
2・佛蘭西ニ於ケル家族手當支給組合　手塚壽郎
3・佛蘭西ニ於ケル社會保險法案　齊田勝吉
4・スエーデンノ労働小作ト其ノ對策　澤村康
5・ハンガリーノ労働法制　吉田
6・獨乙失業保險ノ被保險者及保險給付　大本利一
7・獨乙經營協議會法ノ改正　美濃口時次郎
8・イタリーノ農業ニ於ケル集合的労働契約　根岸勉治
9・支那ノ労働法制　岡野一朗
10・西班牙ニ於ケル新労働法
11・支那ノ労働爭議（下完）　宮脇賢之介
12・本邦海員労働事情（2）　長谷孝之
13・英國ニ於ケル合理化運動トシテノトラスト（下）　竹中鶴雄
14・海外労働事情
15・國内労働日誌

1・對田労働爭議ノ顚末（上）	
2・印度労働組合運動ノ發達	水上鐵治郎
3・英國農民ノ政治運動	齊藤英一
4・獨乙ニ於ケル施築ギルドノ發達（上）	白崎享一
5・獨乙社會民主黨ト農業問題	栗原藤七郎
6・新西國ノ土地政策ト其ノ實際	生江孝之
7・スエーデンノ内地植民政策	澤村康
8・英國戰後ノトラスト運動ト合理化問題	竹中龍雄
9・獨乙ニ於ケル産業合理化ト労働組合ノ對策	山崎廣
10・本邦海員労働事情（3）	長谷孝之
11・海外労働事情	
12・國内労働日誌	
13・マルサスノ價値論	波多野鼎

第94號（7月號）　內容資料　136

1．野田労働爭議ノ顚末（中）　協調會
2．小作爭議地ニ於ケル農村事情ノ變化（1）　協調會
3．本邦市營事業ニ於ケル労働運動　磯村英一
4．獨乙ニ於ケル建築ギルドノ發達（下）　白崎享一
5．労働組合法ノ諸構成要素　山中篤太郎
6．獨乙新設労働裁判所ノ判決　山口正太郎
7．明治時代ノ雇主組合　森田良雄
8．貧困家計調査ノ統計　玉城肇
9．海外労働事情　協調會
10．國內労働日誌　協調會

第95號（8月號）　内容資料　137

1・野田労働爭議ノ顚末　協調會
2・小作爭議地ニ於ケル農村事情ノ變化　協調會
3・社外般爭議　長谷孝之
4・支那ノキルドト労資爭議　岡野一朗
5・深刻化スル北米合衆國ノ失業問題　遊佐敏彦
6・第11回國際労働總會　國際労働局
7・海外労働事情　協調會
8・國内労働日誌　協調會
9・社會運動家トシテノバアナード・シヨウ（上）　澤田謙
10・獨乙自由主義ノ再興　美濃口時次郎

第96號（9月號）　内　容　資　料

1	消費組合ノ社會的機能	長岡保太郎
2	協同組合運動ト労働者問題	田邊忠男
3	ベルギーノ消費組合運動	村山篤忠
4	労農露國ノ協同組合運動（上）	美濃口時次郎
5	神戸消費組合ヲ觀ル	長岡保太郎
6	消費組合ト國際貿易	竹中龍雄
7	労働者生産組合	篠田七郎
8	小作爭議地ニ於ケル農村事情ノ變化（3）	協調會
9	社會運動家トシテノバアナード、シヨウ（下）	澤田謙
10	海外労働事情	協調會
11	國内労働日誌	協調會

第97號（10月號）　内容資料

1・マーカンチリズム政策　竹内謙二
2・礦夫労役扶助ノ改正ニ就テ（上）　北岡善逸
3・労働法判例研究（1）　木村清司
4・調停ニ依ル小作事情ノ改善　小林平左衛門
5・獨乙鑛業爭議ト八時間労働運動ノ前途　秋山弁助
6・小作爭議地ニ於ケル農村事情ノ變化（4）　協調會
7・労農露國ノ協同組合運動（下）　美濃口時次郎
8・本邦製陶業労働事情（上）　吉田寧
9・海外労働事情
10・國内労働日誌

第98號（11月號）　内容資料　140

1・セツトルメント經濟的施設　松本烝人
2・貨幣變動ノ國際的趨向　美濃口時次郎
3・支那ノ庶民金融機關　岡野一期
4・傷夷労役扶助規則ノ改正ニ就テ（下）　北岡壽逸
5・小作爭議地ニ於ケル農村事情ノ變化（5・完）　協調會
6・本邦製麻業労働事情（中）　吉田寅
7・海外労働事情　協調會
8・國内労働日誌　協調會
9・初期佛國西マーカンチリズム政策　竹内謙二

第99號（12月號）　内容資料　141

1	米國ニ於ケル労働爭議減少ノ原因及日本	
2	労働條件ノ比較	長谷川公一
3	支那労働問題ト其ノ背景	宮脇賢之介
4	最近スイス市営事業労働政策ノ展開傾向	藤本英男
5	カナダ産業爭議調査法	緒方友来
6	労働法判例研究（2）	木村清司
7	本邦鉄道業労働事情（下）	吉田寧
8	海外労働事情	協調會
9	國内労働日誌	協調會
10	飯場ヒト立ン坊ノ研究	工藤英一
11	明治初年ノ地租改正事業ト地主階級	豊岡保二

昭和四年度

第100號（1月號）　内容資料

1	第100號ヲ發行スルニ當リテ	添田敬一郎
2	法律文化ノ展望	牧野英一
3	町人經濟學ト正貨流出問題	高橋誠一郎
4	産業別組合運動ノ理論的基礎	田邊忠男
5	科學的勞働法ト勞働政策	松澤俊人
6	我國政治ノ匡正策ニ就テ	高橋清吾
7	デモクラシーノ政治機構（上）	鈴木安藏
8	政黨政治ト階級闘爭	澤田謙
9	來ルベキ國勢調査ニ對スル希望	猪間驥一
10	勞働法ノ二傾向	山口正太郎
11	船員健康保險ニ關スル諸國立法	清水玄
12	獨逸社會保險ノ概觀	深町穂積
13	朝鮮ニ於ケル土地政策ノ變遷	根岸勉治

14・オーストラリヤニ於ケル労働時間問題　緒方友来
15・工場法制定時ノ議會ト運動（上）　森田良雄
16・滿洲ニ於ケル労働爭議ノ現狀ト今後　笹川潔
17・親近支那ノ改造運動概觀　岡野一朗
18・中小工業金融ト其ノ金融機關　松崎壽
19・收穫保險ノ意義　齊藤榮一
20・國際營理協會ノ提唱ニ係ル合理化ノ方策　上野陽一
21・我國ニ於ケル團体交渉（上）　内藤義弘
22・都市交通労働婦人ノ雇傭事情　碾村英一
23・製紙工場ニ於ケル福利施設　吉田寧
24・海外労働事情　協調會
25・國内労働日誌　協調會

第101號（2月號）　内容資料　144

1．昭和3年度ニ於ケル日本労働運動概観（上）　内藤義弘
2．昭和3年度ニ於ケル農村問題概観　齊藤榮一
3．我邦ニ於ケル小作協約ニ就テ　松村勝治郎
4．工場制定時ノ議會ト運動（下）　森田良雄
5．産業合理化ニ關スル考察　暉峻義等
6．我國ニ於ケル團体交渉ニ就テ（下）　内藤義弘
7．海外労働事情　協調會
8．國内労働日誌　協調會
9．コルベールトマーカンチリズム政策（上）　竹内謙二
10．デモクラシーノ政治機構（下）　鈴木義男

1・	總選擧ヲ前ニシタル英國勞働運動果	中西仁三
2・	獨乙鑛業勞働爭議ト强制調停制度	秋山斧助
3・	昭和3年度ニ於ケル日本勞働運動概觀（下）	内藤機弘
4・	組合加入强制ノ違法性（上）	木村清司
5・	浮浪者ノ除キニ就テ	工藤英一
6・	經營協同トデインタ運動	下田忠雄
7・	明治初年ニ於ケル關稅政策論ノ展開	竹中龍雄
8・	コルベールトマーカンチリズム政策（下）	竹内謙二
9・	本邦海員ノ給與狀態	長谷幸之
10・	海外勞働事情	協調會
11・	國内勞働日誌	協調會

第103號（4月號）　內容資料　146

1．イタリー獨裁政治下ノ労働組合　山口正太郎

2．初期英國消費組合運動ト日本消費組合運動ノ現狀　山崎逸治

3．支那國民政府ノ農村政策（上）　宮脇賢之介

4．我國生糸業ニ於ケル産業革命　安泰吉郎

5．組合加入強制ノ違法制（下）　木村清司

6．生産費逓増及逓減ノ法則ト保護貿易主義　手塚壽郎

7．企業結合ニ就テ　瀬戸健助

8．都市土木事業ニ於ケル雇傭事情　磯村英一

9．海外労働事情　協調會

10．國內労働日誌　協調會

第104號（5月號）　內容資料　147

1・労働者教育ニ關スル私見　藤澤　稔
2・最近労働者ノ教化ニ關スル二三ノ傾向　惣田太郎吉
3・工場從事員ノ教育ニ就テ　三谷榮三郎
4・教育ナンテ出来ルモノカ　矢高　實
5・專賣局工場ニ於ケル成人教育ノ事績　神田孝一
6・英國ニ於ケル労働者教育及労働組合委員會　鈴木誠治
7・労働者教育ノ要諦　小尾範治
8・階級労働教育論二三　松澤兼人
9・支那ノ徒弟　永野賀成
10・支那國民政府ノ農村政策（下）　宮脇賢之介
11・ヨナゲ屋ト掘リ屋　工藤英一
12・海外労働事情　協調會
13・國內労働日誌　協調會
14・第56議會ニ提出サレタル労働問題關係諸法案

第105號（6月號）　内容資料　148

1・英國關稅政策ノ現狀概觀（上）	竹内謙二
2・英國勞働黨ノ政綱ニ就テ	中西仁三
3・メキシコノ勞働運動	長田嘉一
4・德川時代ノ小作問題	田邊勝正
5・我國ニ於ケル深夜業禁止問題	平田鑑夫
6・本邦商業使用人ノ就業時間	磯村英一
7・海外勞働事情	協調會
8・國內勞働日誌	協調會
9・リカードノ社會政策觀	伊東乃

1．雇傭制限約款ト給料被傭者ノ保護　秋山芳助
2．英國關稅政策ノ現狀概觀（下）　竹内静二
3．其ノ後ノ健康保險　清水玄
4．工場法ノ改正ニ就テ　北岡壽逸
5．本邦中小工業ノ地位ト其ノ問題（上）　鯨田克郎
6．紡織工女ノ長期疲勞ニ就テ（上）　蒲生良雄
7．海外勞働事情
8．國内勞働日誌　協調會

第107號（8月號）　内容資料　150

1	重役ノ性質ト職能	野田信夫
2	本邦中小工業ノ地位ト其ノ問題	館田克郎
3	米國ニ於ケル労働協約	秋山斧助
4	工場危害豫防及衛生規則概説	北岡喬逸
5	國民政府ノ土地政策ニ就テ	吉田虎雄
6	1928年ニ於ケル支那ノ労働組合運動	永野賀成
7	第12回國際労働總會ト日本	國際労働局
8	紡績工女ノ夏期疲労ニ就テ（下）	藤生良雄
9	海外労働事情	協調會
10	國内労働日誌	協調會

第108號（9月號）　内容資料

1	我國ニ於ケル失業問題	内藤久寛
2	失業問題ノ根本的解決	武藤山治
3	知識階級失業問題ニ就テ	河津遜
4	知識階級ノ失業問題ト教育	大島正徳
5	我國現在ノ失業問題ノ性質ト其ノ重點	高橋龍吉
6	當面ノ失業對策	赤松克麿
7	金解禁問題ト失業	出井盛之
8	職業別人口ノ變遷ヲ通シテ見タル失業問題	土方成美
9	農村失業問題ノ輪廓	小野武夫
10	不景氣ト我國農村ノ人口問題	東畑精一
11	最近ドイツ經濟史上ノ失業	石浜知行

12	イギリス労働黨ノ失業政策	佐々弘雄
13	英國保守黨及自由黨ノ失業對策	三菱資料課
14	英國ニ於ケル失業問題ト救貧法	山崎巖
15	我國失業狀態ノ觀測	鵜原鐵三郎
16	本邦都市ヲ中心トスル失業問題ノ回顧	藤村英一
17	海外労働事情	協調會
18	國内労働日誌	協調會

第109號（10月號）　内容資料

1	如何ナル労働組合法ヲ制定スヘキカ	孫田敬一郎
2	労働組合法ニ就テ	今岡純一郎
3	社會局案労働組合法案ニ對スル卑見	孫田秀春
4	爭ロ一團体テモ協約法ヲ	小倉正恒
5	労働組合法ニ就テ	三輪壽壯
6	我國無産階級ト労働組合法ノ問題	片岡安
7	労働組合法案ニ就テ	昼間隆一郎
8	労働組合法ノ諮問事項	片山哲
9	社會民衆黨ノ主張スル労働組合法要綱	松岑生人
10	公營企業ト労働組合法	山口正太郎
11	労働組合法ヨリ團体協約法ヘ	平田勝夫
12	労働組合法案私見	

13 ・横濱船渠株式會社ニ實施セル合理的貸銀制度　阿部忠一
14 ・本邦ニ於ケル金解禁ト合理化問題　鄭戸信助
15 ・所謂法權回復時代ノ關稅政策論　竹中龍雄
16 ・各國ニ於ケル社會行政機關　向井章
17 ・労働爭議ト戰術（上）　町田辰次郎
18 ・海外労働事情　協議會
19 ・國內労働日誌　協議會

1	如何ナル小作法ヲ制定スヘキカ	
2	小作立法ノ沿革	小野武夫
3	實際政治ノ問題トシテノ小作法制定	稻田昌植
4	小作立法ノ重點	岡田温
5	小作法ト農民運動	太田利一
6	小作法ニ對スル私見	杉山元治郎
7	小作法私議	高蕃松男
8	小作法ニ於ケル小作權	澤村康
9	小作法制定ノ私案	松永義雄
10	小作法參考資料	協調會
11	船員保險法案要綱ニ就テ（上）	熊谷憲一

12 · 合理化ト労働資本層　谷口弥五郎
13 · 總同盟第3次分裂事件ノ画面　内藤義弘
14 · 労働爭議ト戦術（下）　町田辰次郎
15 · 台灣ニ於ケル小作問題概況　宮地蒼生夫
16 · 海外労働事情　協調會
17 · 國内労働日誌　協調會

第111號（12月號）　內容資料　157

1．英國ノ紡績爭議ニ就テ　中西仁三

2．青島紡績労働爭議ノ意味ト之カ對策　前田幸太郎

3．ソヴイエツト．ロシヤニ於ケル農業協同組合運動ノ現狀　八木澤善次

4．英國協同御賃組合ノ歷史的考察ト現勢　山崎勉治

5．英國ニ於ケル賃銀ノ公的統制　緒方友来

6．米國ニ於ケル收穫保險　齊藤榮一

7．船員保險法案要綱ニ就テ（下）　熊谷憲一

8．鮮人労働者ト失業問題　秋山斧助

9．非科學的文化ノ特質ト其ノ社會施設　小島憲

10．海外労働事情　協調會

11．國內労働日誌　協調會

第112號（1月號）　内容資料　158

1	社會政策上ヨリ見タル我國ノ稅制	土方成美
2	一社會學徒ノ主問題	河合榮治郎
3	勞働者家族生活費ノ補給	林毅未夫
4	我國ニ於ケル階級的農村消費組合運動ノ現狀	根岸勉治
5	社會民主主義治下ノ維也納市	吉川末次郎
6	歐洲ノ聯邦爭議調停制度	水上鐵治郎
7	勞働保護事業ニ就テ	松壽無人
8	佛蘭西勞働組合法ノ史的變遷	山口正太郎
9	農民離村ノ原因ニ關スル綜合的考察（上）	久保田明光
10	第13回國際勞働會議ト日本	國際勞働局
11	消費組合ノ目的	本位田祥男
12	海外勞働事情	
13	國内勞働日誌	

1・昭和4年ニ於ケル労働運動ノ回顧	内藤戒弘
2・昭和4年度小作爭議並農民運動	松村勝治郎
3・労働法判例研究	木村清司
4・解雇手當ノ法律的性質ニ關スル考察	大坪保雄
5・支那國民政府ノ商民政策	宮脇賢之介
6・農民離村ノ原因ニ關スル綜合的考察（下）	久保田明光
7　ヘンリイ，ジヨージノ地代論	木下彰
8・海外労働事情	協調會
9・國内労働日誌	協調會
10・無產政黨戰線統一問題	
11・戰線統一ハ行詰カラ	小池四郎
12・實踐的ノ合同論	河野密
13・戰線ノ統一ニ就テ	細迫兼光

第114號（3月號）　内容資料

		160
1	紡績業ノ深夜業禁止ト操短問題	北岡勉哉
2	英國救貧法ト選擧權	山路愛山
3	歐洲關稅政策	大竹義一郎
4	北九州ノ炭礦業被害問題（上）	澤村訓
5	本邦大都市ニ於ケル住宅ト人口	遠藤恒
6	我國農業ニ於ケル資本主義發展ノ特殊形態ニ就テ	内ヶ崎虎二郎
7	バスティアノ社會利益調和說ト貿易政策	竹内静二
8	ヘンリイ・ジヨウジノ地代論（下）	木下彰
9	秋田縣前田村ノ小作爭議概要	松村勝治郎
10	昭和4年度無產政黨運動概觀	中川賢一
11	海外勞働事情	
12	國内勞働日誌	

第115號（4月號）　内容資料　181

1・日傭労働者ト失業問題　秋山斧助
2・東京府市ノ失業救濟事業　碌村英一
3・深夜業廢止ノ紡績工女ノ健康ニ及ボス影響ニ就テ　浦生良達
4・本年ノ國際労働會議ト炭坑労働時間問題　桜井安右衛問
5・労働法判例研究　木村清司
6・農村ノ營利化ト振興　齋藤榮一
7・北九洲ノ炭礦業被害問題（中）　澤村康
8・商品市價安定化ノ目標　竹中龍雄
9・日本大衆黨ノ議會對策　三輪壽壯
10・特別議會ニ對スル社民黨ノ政策　片山哲
11・無産政黨選擧成績一覽　協調會
12・海外労働事情　協調會
13・國内労働日誌　協調會

第116號（5月號）　內容資料　162

1．產業合理化政策要綱　俵孫一
2．我國產業界ノ現狀ト產業合理化　松岡均平
3．我ノ產業界ノ不合理性　稻畑勝太郎
4．労働ノ合理化　渡邊鐵蔵
5．產業合理化ノ意義　吉野信次
6．產業合理化ト稅制ノ合理化　矢野恒太
7．我國產業合理化運動ノ合理化　高橋龜吉
8．產業合理化ノ本質ト其ノ批判　赤松克麿
9．產業ノ合理化ト資本主義ノ矛盾　細迫兼光
10．農業ニ於ケル合理化ノ方向ト限界　東浦庄治
11．產業合理化ノ根本問題　蹕敏義等
12．臨社運動トシテノ合理化運動　谷口吉彦
13．各國労働組合ノ合理化對策　水上鐵治郎
14．獨乙労貧ノ合理化對策　美濃口時次郎

15 ・眞ノ合理化ト僞ノ合理化　勝田貞次
16 ・精神的動作ノ合理化　若林米吉
17 ・合理化ト失業　野田信夫
18 ・産業合理化ノ批判基準トシテノ統制ノ重要性　村本福松
19 ・新資本主義トシテノ合理化運動　熊田克郎
20 ・海外労働事情　協調會
21 ・國内労働日誌　協調會

第117號（6月號）　内容資料　　164

1	労資ハ如何ニ協力シタカ	野田信夫
2	我國ニ於ケル養蠶保險ノ事例	根岸勉治
3	強制失業保險ニ對スル一考察	藤田良雄
4	英國労働黨ノ難關タル炭坑法案	水上鐵治郎
5	産業革命期日本人ニ勞動ノ一考察（上）	山中篤太郎
6	北九州炭礦業被害問題（下）	澤村康
7	失業問題ト通貨政策	中西仁三
8	英國婦人消費組合ギルドノ活動	山崎勉治
9	海外労働事情	協調會
10	國内労働日誌	協調會

第118號（7月號）　内容資料　165

1　六大都市ニ於ケル失業救濟事業
2・東京府市ノ失業救濟事業　礒村英一
3・京都市ニ於ケル失業者　淺葉見龍
4・大阪府市ニ於ケル失業者救濟事業（上）　酒井利男
5・名古屋市ノ失業救濟事業　久住榮一
6・橫濱市失業救濟事業　山根　變
7・神戸市ノ失業救濟事業　緒方庸雄
8・日本ノ原生的労資關係（上）　波多野　鼎
9・我國ニ於ケル利益分配及類似制度　吉田　寧
10・産業革命期日本人口變動ノ一考察（下）　山中篤太郎
11・湯浅伸銅爭議ト調停法最初ノ活用　石原專一
12・海外労働事情　協調會
13・國内労働日誌　協調會

第119號（8月號）　内容資料

1	労働組合法案ノ論議ノ檢討	一戸二郎
2	労働者災害扶助法制委員ニ就テ	北岡春造
3	労働法時事二題	木村清司
4	英國ノ八時間労働法案ト時間制協約批准問題	穂井安右衛門
5	小作料附加米問題（上）	小野武夫
6	英國ノ産業合理化政策（上）	美濃口時次郎
7	能率研究者カラ見タ産業合理化	上野陽一
8	日本ノ原生的労資關係（中）	波多野鼎
9	大阪府市ニ於ケル失業救濟事業（下）	酒井利男
10	海外労働事情	協調會
11	國内労働日誌	協調會

第120號（9月號）　內容資料

1．產業平和ト労働組合法　藤田敬一郎
2．產業平和ノ實現ニ就テ　鑒澤昌貞
3．階級協調ノ可能，不可能ト其ノ對策　林　發未夫
4．產業平和ト關主團体　森田良雄
5．住友工場協議會十年ノ足跡　三村起一
6．海事協同會ニ就テ　上谷　樹
7．產業平和ト團体協約　岡本榮吉
8．杉本精疲端利潤分配制度　杉本精疲端
9．郡是製糸株式會社ノ教育　川合信水
10．富士紡川崎場労働爭議調停ノ顛末　協調會
11．新潟縣新發田町附近ニ於ケル農業委員會ノ概況　相馬恒二
12．農村協調組合トシテノ上秋和榮路會　長屋正志

13 · 愛媛縣余土村ニ於ケル土地管理及共同耕作　森　恒太郎
14 · 農村ニ於ケル労資提携ノ一事例　松村勝治郎
15 · 合理化政策トシテノ産業平和政策　美濃口時次郎
16 · 第14回國際労働總會ト日本（1）　國際労働局
17 · 小作料附加米問題（下）　小野武夫
18 · 海外労働事情　協調會
19 · 國内労働日誌　協調會

第121號（10月號）　內容資料　159

1．內外ニ於ケル労働爭議ノ近代的趨勢（上）　長谷川公一
2．無產政黨合同運動ノ展開ト全國大衆黨ノ結成　中川賢一
3．米國南部ノ綿羅業組織運動　松澤榮人
4．工業労働者停年制度ニ關スル一考察（上）　桂　皐
5．北海道ニ於ケル朝鮮人鑛夫問題（上）　大橋文平
6．労働時間ノ長サト氣候　石原修
7．日本ノ原生的労資關係（下）　波多野鼎
8．秋田縣ニ於ケル土地所有關係　根岸勉治
9．英國ノ產業合理化政策（中）　美濃口時次郎
10．第14回國際労働總會ト日本（2，完）　國際労働局
11．海外労働事情　協調會
12．國內労働日誌　協調會

第122號（11月號）　內容資料　170

1．労働者團結權ノ保護ニ關スル諸國立法例　浅利順四郎
2．俸給被傭者ノ保護法案　小池四郎
3．土地立人禁止問題ニ就テ　下河部良佐
4．內外ニ於ケル労働爭議ノ近代的趨勢（中）　長谷川公一
5．工業労働者停年制度ニ關スル一考察（中）　桂　學
6．北海道ニ於ケル朝鮮人獻夫問題（下）　大槻文平
7．國際工業協定（上）　青木誠一
8．英國ノ產業合理化政策（下）　美濃口時次郎
9．北海道ノ拓殖ト移民招徠　岡田甚之助
10．海外労働事情　協調會
11．國內労働日誌　協調會

第123號（12月號）　内容資料　171

1　獨乙國民社會主義黨ノ政綱及組織　中西仁三
2　内外ニ於ケル労働爭議ノ近代的趨勢（下）　長谷川公一
3　ムツソリーニノ農業振興策　山林忠好
4　我邦ニ於ケル農業合理化ノ目標　青藤榮一
5　國際工業協定（下）　青木節一
6　獨乙ノ醫療保護　兒玉政介
7　母子扶助法制定ノ理由ト要項　赤松明子
8　労働法判例研究（下）　木村清司
9　工業労働者停年制度ニ關スル一考察（下）　桂　島
10　合理化ト労働ノ强度　野田信夫
11　日本農地地代ノ研究　田中　定
12　知識階級失業者ノ苦悶　諸方庸雄
13　海外労働事情　協調會
14　國内労働日誌　協調會

昭　和　6　年　度

第124號（1月號）　内　容　資　料　　172

1・法律現象ニ於ケル倫理ト技術トノ交錯　牧野英一
2・ドイツニ於ケル財政改革（上）　新明正道
3・所謂労働者工場管理問題　岩島清吉
4・ソヴエト集團農業運動ノ經濟的根據　大竹博吉
5・失業防止策トシテノ労働時間短縮問題　北岡壽逸
6・我國ニ於ケル雇傭制限約款問題　秋山弁助
7・墺太利「労働自由保護法」ニ就テ　木村清司
8・海外労働事情
9・國内労働日誌
10・昭和5年度無產政黨運動概觀　中川暢一
11・昭和5年度ニ於ケル農村問題ノ回顧　下河部良佐

第125號（2月號）　內容資料　173

1・我國現下ノ失業對策　川西實三
2・労働法制トシテノ企業ノ廢休止制限　山口正太郎
3・労働組合法案ノ受難　前田多門
4・労働組合法案問答　森田良雄
5・無產黨合同問題　吉岡繁喜
6・獨乙國民社會主義黨綱領ノ經濟的根據　中西仁三
7・昭和5年ニ於ケル労働運動ノ種々相　內藤義弘
8・昭和5年ニ於ケル労働者消費組合運動概觀　村山重忠
9・昭和5年ニ於ケル社會法制概觀　山上維藏
10・ドイツニ於ケル財政改革（中）　新明正道
11・退職手當制度ノ現狀（上）　長谷孝之
12・海外労働界情勢
13・國內働働界情勢

1・革命不成功ノ條件　藤井　勲
2・ゴンドラ村生活抄　工藤英一
3・ドイツニ於ケル財政改革（下）　新明正道
4・家族手當制度ノ研究　氏家貞一郎
5・隣保關係ノ解約告知ニ關スルドイツノ法制（上）　後藤清
6・階級的立法ノ社會的影響　水上鐘治郎
7・東京市電共濟組合不正事件　手塚亮一
8・共濟組合ノ管理及勞働組合　松澤愛人
9・官業共濟組合ト組合員ノ參加權　宿利晴彦
10・退職手當制度ノ現狀（下）　長谷幸之
11・資本家ノ見タル勞働運動　龍生久
12・海外勞働界情勢
13・國内勞働界情勢

第127號（4月號）　内容資料　175

1・支那農村ヲ風靡セル痲藥ノ流行　宮脇賢之介
2・ロシヤ農業過剰人口ト農民階級ノ運命　根岸勉治
3・ロシヤ農業ノ發展傾向　栗原藤七郎
4・サウエート・ロシヤノ市政組織　吉川末次郎
5・資本家團体總聯合ノ企圖　藤井悌
6・労働組合法無産黨共同案ノ批判　山中篤太郎
7・英國労働黨トモズレー派ノ立場（上）　蠟山正道
8・店舗ノ營業時間制限ニ關スル問題　櫻井安右衛門
9・雇傭關係ノ解約告知ニ關スルドイツノ法制（下）　後藤清
10・本邦・メント工業労働事情概況（上）　兒玉兼道
11・海外労働界情勢
12・國内労働界情勢

第128號（5月號）　　內容資量　　173

1・歐洲ニ於ケル反革命運動一般　　中西仁三
2・我教育制度ノ缺陷ト労働者ノ教育　　大内經雄
3・労働問題ヨリ視タル歐洲聯合案　　牧内正男
4・勤労生計費ノ動態ニ關スル考案　　神田孝一
5・労働者災害扶助法上ノ扶助責任者　　木村清司
6・第59議會ト無産政黨ノ態度
7・英國労働黨トモズレー派ノ立場（下）　　蠟山政道
8・本邦セメント工業労働事情概況（中）　　兒玉兼道
9・海外労働界情勢
10・國內　〃　〃
11・第59議會ニ提出セラレタル労働問題關係諸法案

1	就任ノ辭	吉田茂
2	小作爭議ノ著シキ農營ノ新機構「請負耕作制」ヲ評ス	田中博廣
3	資本ノ獨占ト日本ノ農業	齋藤榮一
4	實施期近キ社會事業關係立法概觀	山崎巖
	健康保險業務ノ一瞥	清水玄
6	救護法ト吾邦暖恤法規ノ歷史的考察	谷山惠林
7	事業主ノ資力ト扶助義務	矢野象三
8	赤色恐怖	藤井悌
9	我國ニ於ケル綿業勞働組合ノ構成及活動	市野龍之介
10	本邦セメント工業勞働事情概況（下）	兒玉象道
11	我中小產業ノ重要性	三浦鐵太郎
12	現代中小商工業問題ノ核心	高橋龜吉
13	我國中小工業ノ地位	美濃口時次郎

14・中小工業ト労働問題	長谷川公一
15・中小商工業ヲ繞ル失業問題	磯村英一
16・中小商工業ノ結成	
17・中小商工業ノ發生ト其ノ將来	藏生久
18・發展ノ見込ナキ中產階級業	秋山斧助
19・百貨店ト小賣商ノ問題	深井信之
20・中小工業金融ニ就テ	土色信一
21・海外労働界情勢	
22・國内労働界情勢	

1	農林窮乏ニ關スル多少ノ考察	松村睦治郎
3	國際勞働局ノ世界不況觀	淺利順四郎
3	獨乙產業合理化ノ發展	磯崎俊次
4	勞働者災害扶助法及勞働者災害扶助責任保險法施行命令要綱ニ就テ（上）	北岡壽逸
5	勞働者災害扶助ノ打切期間	矢野彙三
6	世界恐慌下ニ於ケルイギリスノ財政ト減俸問題	美濃部亮吉
7	獨乙官吏減俸ト財政改革案	新明正道
8	減俸問題ト官吏ノ團結	田邊忠男
9	イタリアノ官吏減俸ト貨銀切下問題	百田
10	合衆國金融資本ト赤字	阿部勇
11	廣東新政府ノ成立ト支那國民革命	前田幸太郎
12	海外勞働界情勢	協調會
13	國內勞働界情勢	協調會

1・カウツキイ著「ボルシエイズムノ行詰リ」評論　小泉信三
2・轉落期ノイギリス帝國主義（上）　佐々木弘雄
小・小作料ノ一時的減免問題ノ根據ト減免事例　勝間田清一
4・續乙產業合理化ノ發展（續）　磯崎俊夫
5・勞働戰線統一ヘノ第一步　米窪滿亮
6・日本勞働俱樂部ノ將來　松岡駒吉
7・全國勞働大衆黨ノ結成トソノ動向　吉岡繁喜也
8・イギリス失業保險勅令委員會中間報告　安積得濟
9・雇傭關係ノ解約告知ニ關スル墺太利ノ法制　後藤
10・勞働者災害扶助法及勞働者災害扶助責任保險法施行命令要綱ニ就テ（下）　北岡壽逸
11・ロンドン救貧行政ノ變遷　小島幸吉
12・海外勞働界情勢　協調會
13・國內勞働界情勢　協調會

1	労働協約特輯號ノ發刊ニ就テ	吉田　茂
2	產業上ヨリ觀タル労働協約	河津　暹
3	產業關係ノ嗣追ト労働協約ノ平和的仕務	長岡保太郎
4	労働協約立法ニ關スル多少ノ考察	末弘嚴太郎
5	法律上ヨリ觀タル労働協約ノ本質及職分	孫田秀春
6	労働協約ノ終了ニ關スル二三ノ法律問題	吉川大次
7	本邦ニ於ケル労働協約立法問題	木村清司
8	労働協約ト協調精神	今岡純一郎
9	労働協約ニ就テ	片岡　安
10	労働協約ノ問題ニ關聯シテ私見ヲ陳フ	栗本勇之助
11	労働協約ニ就テ	森田良雄
12	產業平和ト團体協約	松岡駒吉
13	歪メラレタル労働協約ヲ排ス	三輪壽壯
14	小作問題ト小作協約	松村勝治郎

15・我國ニ於ケル労働協約ニ就テ　内藤喜弘
16・東京製鋼株式會社ノ労働組合公認ニ就テ　東京製鋼株式會社　川崎工場
17・我團体協約ノ成績　三木治郎
18・團体協約機關トシテ見タル海事協同會　米窪満亮
19・團体交渉ト團体協約　坂本秀三郎
20・團体交渉權ノ認容ト經過ニ就テ　菊地二
21・俸給被傭者ト労働者トノ階級的提携　小池四郎
22・イギリス労働協約ニ就テ　山中篤太郎
23・アメリカニ於ケル労働協約ノ基本觀念ト其ノ發展　淺井清信
24・佛國労働協約法ノ特殊性　星野辰雄
25・イタリアニ於ケル労働協約ノ一般的考察　吉田
26・ソヴイエットノ労働協約　山口正太郎

27	災害救助法令合案要綱ニ就テ	鈴木清蔵
28	第15回國際労働総會ト日本	國際労働局
29	海外労働界情勢	
30	國内労働界情勢	

第133號（10月號）　　內容資料　　184

1・失業保險是非　　前田多門
2・英國失業保險ト失業保險輪　　安積得也
3・英國ノ政變ト労働運動　　水上鐵次郎
4・老英帝國ノ危機　　美濃部亮吉
5・日本労働倶樂部ノ成立ト戰線統一ノ問題　　中川賢一
6・我國中小工業ノ組合（上）　　美濃口時次郎
7・獨乙產業合理化ノ發展（完）　　磯崎俊次
8・中國農林問題研究ノ發軔　　宮脇賢之介
9・最近ニ於ケル農業委員會ノ趨勢　　下河部良佐
10・獨乙ニ於ケル罷業損害保險ノ發達　　山口正太郎
11・労働法判例研究　　木村清司
12・海外労働界情勢　　協調會
13・國內労働界情勢　　協調會

1	農村不況トソノ對策	橋本傳左衛門
2	德川時代ノ農業恐慌	小野武夫
3	農村不況ニ就テ	松村勝治郎
4	農村不況原因ノ研究	岡田溫
5	農村經濟ノ窮迫ト產業組合	千石興太郎
6	農村疲弊ノ根本原因	岡本利吉
7	農村窮乏ノ實情	片山哲
8	現下ノ農村恐慌ヲ展望ス	永井彰一
9	農業金融竝農家負債整理ニ關スル諸問題	勝間田清一
10	農民組合ノ農村窮乏打破運動ノ實際	下河部良佐
11	農村不況ト小作爭議	山本巖
12	農村不況ト教育問題	高橋雅介
13	農村不況ノ產業組合ニ及ホセル影響	齋藤榮一
14	農業保險ノ可否	太田利一

15・長野縣ニ於ケル農村不況ノ實相ト其ノ對策	高野史一
16・島根縣下ノ農村不況	安部嶽吉
17・農村不況ノ實情及其ノ對策	各道府縣農會
18・農村ノ不況ト世界經濟	半澤耕貫
19・獨乙農政ノ危機（リツター）	
20・チエツコスロバキアニ於ケル經濟恐慌ノ農業ニ及ホセル影響レ・バードリック	
21・ディツエ教授ノ農業恐慌論	
22・農村不況問題ニ關スル文獻資料紹介	宮本倫彦
23・海外勞働界情勢	協調會
24・國內勞働界情勢	〃

内容資料

第135號（12月號）

1・本邦ニ於ケル婦人労働運動ノ趨勢ト其ノ檢討　長谷川公一
2・英國労働黨ノ修改　水上徹治郎
3・協力内閣ノ大勝ト労働階級　松方三郎
4・現下ノ恐慌ト労働爭議　村山重忠
5・我國中小工業ノ組合（下）　美濃口時次郎
6・労働者災害扶助法ノ打切扶助　永島密之亮
7・労働者災害扶助法ノ責任者ニ就テ　鈴木脩聽
8・佛國リオン地方絹織物工業ニ於ケル最低賃金制　石崎政一郎
9・英國ニ於ケル養老年金制度　一野瀬三郎
10・ディツエ教授ノ農業恐慌論（下）　澤田廉
11・社會專業家トシテノ蓋澤翁　協調會
12・海外労働界情勢・
13・國内労働界情勢

昭和七年度

第136號（1月號）　　內容資料　　188

1	臨時產業合理局顧問トシテノ余ノ經驗カラ	中島久萬吉
2	重要產業ノ統制法ニ就テ	吉野信次
3	我棉作衰亡事情ト其ノ國民經濟ニ及ホセル影響	高橋龜吉
4	低貨銀政策ノ論據ニ關スル一考察	左右田武夫
5	北海道ニ於ケル友子組合ト其ノ運命	寺山朝
6	工場勞働者ノ福利施設	皃玉泰道
7	工場法違反三題話	矢野會三
8	ソヴエート聯邦ニ於ケル農業分化ト其ノ地域的配列	齋藤榮一
9	ルーマニアニ於ケル農業恐慌ノ影響	廣崎鳴八郎
10	海外勞働界情勢	協調會
11	國內勞働界情勢	〃

第137號（2月號）　　內容資料

1	昭和6年産業労働界概観	長谷部之
2	昭和6年ノ労働者運動ノ情勢（上）	中川貢一
3	昭和6年ニ於ケル労働爭議ノ概観	村山常忠
4	昭和6年ニ於ケル労働者消費組合運動	〃
5	昭和6年度ニ於ケル農政問題ノ回顧	協調會
6	昭和6年度ニ於ケル農民運動，小作爭議ノ概観	下河部良佐
7	1931年ニ於ケル海外労働界ノ情勢	水上敬次郎
8	青森縣凶作ニ就テ	松村勝次郎
9	我稻作凶亡事情ト其ノ國民經濟ニ及ボセル影響(2)	高橋龍吉
10	工場法違反三題話	矢野榮三
11	獨乙社會政策ノ運命	大河内一男
12	海外労働界情勢	協調會
13	國内労働界情勢	〃

第138號（3月號）　　內容資料

1・	健康保險ト醫業	小泉橋郎
2・	第13回國際消費組合聯合大會ノ概觀	倉田七郎
3・	昭和6年度ノ勞働者運動ノ情勢（下）	大川賢一
4・	日佛獨英ニ於ケル職業構成並勞働者階級ノ構成	喜多野清一
5・	勞相互金融施設ニ關スル實驗	神田孝一
6・	獨乙新緊急令ノ意義	磯崎俊永
7・	國民社會黨ノ分析	佐々弘雄
8・	世界關稅戰ノ再激化ト勞働階級	平尾磐五郎
9・	東歐諸國ノ土地改革ト其ノ效果（上）	田邊勝正
10・	我捕鯨衰亡事情ト其ノ國民經濟ニ及ホセル影響（下）	高橋龜吉
11・	海外勞働界情勢	協調會
12・	國內勞働會情勢	

第139號（4月號）　　內容資料　　191

1・利潤分配制度ノ考察　　後藤　清
2・英國ニ於ケル労働者災害補償法ノ成立道程　　水局密之亮
3・健康保險ト醫業（下）　　小泉梧郎
4・國際労働會議ト世界不況打開策　　栗本勇之助
5・第三次普選ト無產政黨　　赤松克麿
6・總選擧ト無產政黨ノ將來　　三輪壽壯
7・轉換期ノ無產政黨ト選擧鬪爭　　吉岡繁專
8・東歐諸國ノ土地改革ト其ノ效果（下）　　田邊勝正
9・親近ノ農村社會施設概要　　高橋雅介
10・五箇年計畫ト労働組織ノ諸問題　　大竹博吉
11・出征職工ノ手當金支給問題　　長谷孝之
12・海外労働界情勢　　協調會
13・國內労働界情勢

1	滿蒙移民問題特輯ノ發刊ニ就テ	吉田　茂
2	滿洲新國家ト極東經濟ブロック	中島久萬吉
3	滿洲移民ニ就テ	河津　暹
4	滿洲移民ト人口問題	土方成美
5	滿蒙植民計畫ノ物質的及精神的要素	矢内原忠雄
6	滿蒙開發政策ト移民問題	小島精一
7	滿洲國ニ對スル吾人ノ待望	水野梅曉
8	滿蒙ヲ對象トスル社會政策ノ基調	磯村英一
9	滿蒙移民問題ノ展望	中島仁之助
10	對滿洲國移民可能ノ範圍	稻田昌植
11	滿蒙農業移民政策ノ諸問題	澤村　康
12	滿蒙農業移民ノ必要ト其ノ可能性	錦織英夫
13	滿洲農業移民ノ實行方法ニ就テ	那須皓
14	滿蒙植民ノ具体的劣策	宗光彦

15・滿洲農業移民方策ヘノ基調	岡川秀蔵
16・滿蒙植民管見	加藤宗治
17・滿洲ノ農業移民ニ就テ	長野朗
18・社會政策的見地カラ滿蒙移民方策ヲ樹立セヨ	尾池禹一郎
19・滿蒙移住ノ根本問題	井上雅二
20・滿蒙ニ於ケル労働需要ノ展望	天谷健二
21・新滿洲國ノ建設ト我國ノ失業問題	篠崎關男
22・我農業ト滿蒙移民	松村勝治郎
23・内地農民ノ立場ヨリ滿蒙問題ヲ見ル	東浦庄治
24・滿洲國ノ政治經済事情	西山榮久
25・滿洲新國家指導原理ノ檢討	藤澤親雄
26・滿洲開發ト移民事情 (1)	宮脇賢之介
27・滿蒙食料品資源ノ利用法要目	繁富保雄
28・海外労働界情勢	

29 ・國內勞働界情勢

30 ・滿蒙產業資料

第141號（6月號）　　内容資料　　195

1．勞働者異常扶助法上ノ諸問題　　木村清司
2．全國農民組合ノ内訌ト分裂狀況　　山本　巖
3．ソヴイエツト　ロシアノ農業協同組合㊤　　藤村　康
4．合理化サレタル工場組織トソノ勞働條件㊤　　西本　台
5．滿洲開發ト移民（2．完）　　宮脇賢之介
6．日滿兩國階級構成ノ比較　　喜多哥清一
7．「流シ」ト「方角」ノ生活ニ就イテ　　工藤英一
8．アルベール・トーマ氏ノ想ヒ出　　前田多門
9．精神的職業勞働市場ニ就テ　　阿部利雄
10．海外勞働界情勢　　協調會
11．國内勞働界情勢　　協調會

第142號（7月號）　　內容資料　　196

1	農村經濟ト自己反省 (1)	小野武夫
2	ソヴィエツトロシアノ農業協同組合（中）	澤村康
3	農業合理化ニ於ケル特約組合ノ意義	久保山千里
4	合理化サレタル工場組織ト其ノ勞働條件（下）	西本喬
5	我國憲法政治ノ將來（上）	高橋清吾
6	ドイツ政變ノ意義	阿部勇
7	國家社會主義運動ト無產政黨ノ分解作用	中川賢一
8	右翼農民組合ノ分裂ト新農民組合結成ノ經緯	下河部良佐
9	國家社會主義ト我國農民運動	今里勝雄
10	勞働者「代表」ノ再吟味	前田一
11	海外勞働界情勢	協調會
12	國內勞働界情勢	〃

1	資本主義社會ニ於ケル家族制度ノ運命	我妻栄
2	我國憲法政治ノ將來（下）	高橋清吾
3	農村經濟ト自己反省 (2)	小野武夫
4	ソヴイエツトロシアノ農業協同組合（下）	澤村康
5	北米合衆國農民經營ノ實際的研究	杉野忠夫
6	最近ノ農家負債整理ニ就テ	勝間田清一
7	英國農業政策ト小麥クオータ制度	八木澤善次
8	勞働者代表ノ再吟味	
9	海外勞働界情勢	
10	國內勞働界情勢	

第144號（9月號）　　内容資料　　198

1・米國最近ノ失業保險立法　森田良雄
2・「労働者代表ノ再吟味」ニ對スル四氏ノ批評ニ答フ　前田一
3・農村經濟ト自己反省（3完）　小野武夫
4・米價變動ト其ノ經濟的因子　太田嘉作
5・社會大衆黨ノ行クヘキ道　安部磯雄
6・社會大衆黨ノ成立　麻生久
7・大衆，社民兩黨ノ合同ト其ノ將來　片山哲
8・社會大衆黨ト労働組合會議　佐々弘雄
9・鐵，石炭ノ經驗カラ見タル日滿經濟統制　小池四郎
10・關東紡績株式會社平塚工場労働爭議　内藤義弘
11・支那全國郵便罷業記　宮脇賢之介
12・タコ人夫ノ労働事情　河村靜觀
13・海外労働界情勢　協調會
14・國内労働界情勢　〃

第145號（10月號）　内容資料

1・米國ニ於ケル團結ノ自由ノ確立	長谷川公一
2・爭議休止ト賃金請求權	渡井清信
3・英法ニ於ケル業務危險主義ノ發達（上）	水島宏之
4・ユーゴースラビア國ノ土地改革（上）	田邊勝正
5・日本農業ノ原始管理制ニ就テ	前田学一
6・班田制社會崩壞ノ一動因トシテノ私墾田	木村靖二
7・消費方增大ヘノ根本策	高橋龍吉
8・「勞働者代表」ノ論議ヲ一讀シテ	鈴木文治
9・凡ユル新戰術ヲ工夫シタ片岡村小作爭議ノ展望	田中博隆
10・青森縣ノ農村恐慌事情，對策，負債調査	田村　浩
11・海外勞働界情勢	
12・國内勞働界情勢	